

日本人口学会第46回大会

日本人口学会（会長：濱英彦）の第46回大会は、平成6年6月3日（金）と4日（土）の両日にわたり、明海大学浦安キャンパスにおいて開催された。本大会は、明海大学経済学部の安川正彬教授を運営委員長とする大会運営委員会の多大な努力により、盛会に行われた。会員の参加は150名を超え、活発な討議がなされた。また、元会長であった故小林和正、故森田優三両名誉会員を悼む追悼講演が行われた。

本大会のシンポジウム、共通論題、自由論題の題名及び報告者は次のとおりである。

○シンポジウム

「地球人口を100億人以下に抑えこめるか」

〈座長〉安川 正彬（明海大学）

岡田 實（中央大学）

〔報告〕

1. 持続可能な開発と人口抑制
2. 女性の役割と人口問題
3. 家族計画プログラムの有効性
4. 人口政策と人権

阿藤 誠（人口問題研究所）

河野 稠果（麗澤大学）

林 謙治（国立公衆衛生院）

功刀 達朗（国際基督教大学）

〈討論者〉大淵 寛（中央大学）

池上 清子（家族計画国際協力財団）

○共通論題〔A部会〕

「結婚の社会経済学」

〈組織者〉水野 朝夫（中央大学）

〈座長〉樋口 美雄（慶応義塾大学）

〔報告〕

1. 結婚をめぐる研究動向
2. わが国結婚の動向と特質
3. 変化する結婚の社会経済的インパクト

八代 尚宏（上智大学）

小島 宏（人口問題研究所）

大沢真知子（亜細亜大学）

〈討論者〉古郡 柄子（中央大学）

松下敬一郎（龍谷大学）

○共通論題〔B部会〕

「ニュータウンの人口問題」

〈組織者〉大友 篤（日本女子大学）

〈座長〉小笠原節夫（愛知教育大学）

〔報告〕

1. 社会的視点から
2. 経済的視点から
3. 地域的視点から
4. 行政的視点から

嵯峨座晴夫（早稲田大学）

中井 検裕（明海大学）

中川 聡史（人口問題研究所）

坂井 貞彦（愛知淑徳大学）

〈討論者〉河邊 宏（専修大学）

大江 守之（人口問題研究所）

○自由論題報告

1. わが国における法律婚と事実婚
2. 生命保険への加入が結婚の社会経済学に与える影響
3. 都道府県別出生率格差の分析
4. 1966年丙午の新事実
5. 某大学学生の結婚・出産・育児に関する意見
6. ファジィ理論による明治期人口動態の推計

石川 晃（人口問題研究所）

笠原 弘義（ニコス生命保険）

廣島 清志（人口問題研究所）

三田 房美（人口問題研究所）

坂井 博通（清泉女学院短期大学）

篠野 脩一（淑徳大学）

新田 時也（亜細亜大学）

- | | |
|--|------------------|
| 7. 第2次大戦前の人口動態統計について | 高橋 眞一 (神戸大学) |
| 8. アジア諸国における2つのセンサス人口に基づく出生率及び死亡率の推計—POPSYNを用いて— | 南條 善治 (東北学院大学) |
| 9. 江戸後期における農業労働と牧畜の利用 | 重松 峻夫 (福岡大学) |
| 10. 19世紀日本の出生力と乳児死亡率—北関東農村の事例から— | 吉永 一彦 (福岡大学) |
| 11. カンティロンの人口経済モデル | 石原 正令 (関東学園大学) |
| 12. 我が国の人的資源開発におけるコスト・ベネフィット分析について | 鬼頭 宏 (上智大学) |
| 13. 明治期以降におけるわが国の消費水準の推移 | 和田 光平 (中央大学) |
| 14. 消費人口の分類 | 案浦 崇 (松蔭女子短期大学) |
| 15. 日・英の生命表に関する比較的研究 (その2) | 新田 功 (明治大学) |
| 16. エイズと人口学 | 今井 孝平 (中央大学) |
| 17. 人口移動と平均寿命との関係について—埼玉県を事例とした考察— | 飯淵 康雄 (琉球大学) |
| 18. 地域間人口移動パターンの特性 | 稲葉 寿 (人口問題研究所) |
| 19. 青年人口の移動歴の分析 | 飯坂 正弘 (農林水産省) |
| 20. わが国の人口移動統計の現状と整備の方向 | 西岡 八郎 (人口問題研究所) |
| 21. カザフスタン共和国の人口問題 | 酒井 高正 (奈良大学) |
| 22. インド人口転換における州間格差 | 藤田 峯三 (総務庁) |
| 23. 開発途上諸国における母乳哺育の動向と要因 | 塩田 長英 (明海大学) |
| 24. 人口増加と土地利用の変化—パプアニューギニアの調査から— | 西川由比子 (尚絅学院短期大学) |
| 25. パプアニューギニア高地Huliの死亡構造 | 佐藤龍三郎 (公衆衛生院) |
| 26. ニューギニア高地における人口支持力、適度人口及びBoserupモデル | 梅崎 昌裕 (東京大学) |
| 27. 中国の社会主義市場経済と人口政策のあり方 | 中沢 港 (東京大学) |
| 28. スウェーデンの出生動向と社会政策に関する分析 | 木下 太志 (江南女子短期大学) |
| 29. フランスの家族政策 | 尹 豪 (中央大学) |
| 30. 日本の人口政策 | 林 謙治 (国立公衆衛生院) |
| 31. 世界人口100億論 | 岡田 實 (中央大学) |
| 32. レオンティエフ逆行列を利用した労働力人口の将来分布の推計 | 岡崎 陽一 (日本大学) |
| 33. 女性のキャリアと人口学的インパクト | 黒田 俊夫 (日本大学) |
| 34. わが国における職業分布の変動と性別分離 | 加藤 久和 (電力中央研究所) |
| 35. 日本人の生活段階と親族数 | 小川 直宏 (日本大学) |
| 36. 高齢者の世帯動態について | 水野 朝夫 (中央大学) |
| | 渡邊 吉利 (人口問題研究所) |
| | 府川 哲夫 (国立公衆衛生院) |

なお、明年の第47回大会は、福岡大学において開催される予定である。

家族問題研究会大会

第385回家族問題研究会大会が、5月28日日本大学文理学部において開催された。大会では、自由報告ならびに『国際家族年と家族問題—「産む」「育てる」、男と女—』と題してシンポジウムが開催され、多数の会員の参加によって活発な議論がなされた。

なおシンポジウムでは以下の報告があった。

1. 出生率の低下と児童福祉政策 柏女 霊峰 (淑徳大学)
2. 結婚・出産・子育てと女性の就業